

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課

教育委員会事務局生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市立図書館(今市・日光・藤原)		
	所在地	日光市中央町29-1 日光市御幸町4-1 日光市鬼怒川温泉大原1404-1		
指定管理者	名称	株式会社図書館流通センター・株式会社近代ビル管理社共同事業体		
	代表者名	代表取締役 石井 昭		
	住所	東京都文京区大塚三丁目1番1号		
指定期間		平成29年4月1日 ~ 平成34年3月31日		5年間
選定方法		公募	評価実施年	5年間のうち1年目
施設設置目的		図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資するとともに、郷土文化の発展に寄与することを目的として、日光市立図書館を設置する。		
主な実施事業		・窓口業務(資料の貸出・返却・予約・検索・調査相談・相互貸借) ・資料発注業務及び資料の登録、整理、除籍等(資料の選定、発注、データ処理、配架、除籍処理、リサイクル) ・自主事業の開催(展示、各講座等の企画及び実施.事後報告) ・市内小学校への移動図書館の定期的実施		

3. 利用状況(目標と実績) jigo

成果指標		単位	平成29年度		平成〇〇年度		平成〇〇年度		平成〇〇年度		平成〇〇年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	資料貸出数	点	364,000	356,338								
b	市民一人あたり貸出数	点	4	4								
c	事業開催件数	回	84	163								
d	管理運営全般の満足度	%	80	89								
e	接遇の満足度	%	80	99								

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
収入計 A	156,389,000	0	0	0	0
指定管理料	156,389,000				
利用料収入 C					
自主事業収入					
その他					
支出計 B	156,236,769	0	0	0	0
指定事業費	154,409,660				
内人件費 D	86,131,240				
内外部委託費 E	18,834,735				
自主事業費	1,827,109				
事業収支 A－B	152,231	0	0	0	0
人件費率 D／B	55.13%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E／B	12.06%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

指定事業以外に、市民のライフステージに合わせた自主事業の継続して実施した。保育園、幼稚園等に出向く、出張読み聞かせを行い、児童書の提供に努めた。郷土支援事業とし、 「日光歴史講座」の開催により、日光市の歴史を学習する機会と関連資料の提供に努めた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
①サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	A	A	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	A	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	A	A	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A	A	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	A	A	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	A	A	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	A	A	
②サービスの 質の評価	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	A	B	
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	A	B	
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A	
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	A	A	
		避難経路が適切に確保されている。	A	A	
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	A	B	
	③安定性	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	A	A
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	A	
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	A	
事業運営		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	A	B	
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	A	
維持管理		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	B	
環境配慮		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	A	A	
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	A	
所見 (成果・課題等)		広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
			協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	A	A	
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B	
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	B	
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	A	B	
	利用状況	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B	
		利用実績は、目標水準である。	A	B	
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B		
所見 (成果・課題等)	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A	
		収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	A	A	
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A	
		収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	A	A	
	所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
		子どもの読書活動は、移動図書館や出張貸出しを実施し、当初の計画以上の成果をだすことができた。また、年間を通して、赤ちゃんからお年寄りまでの各年齢層を対象とした講座、イベント等を計画的に開催し、図書館の利用推進に努めた。			
		課題としては、少子化による人口減少のなかで、どのように図書館利用者を増加させていくかが課題である。			
(所管課評価)					
小学校への移動図書館、保育・幼稚園等への出張読み聞かせ等子どもの読書活動に実績があった。乳幼児のブックスタートのほか、図書館事業として各年齢層に向けた講座等を開催したことで、日光市読書活動への契機、推進に貢献している。図書館3館で、集客できる講座を複数館で開催するのではなく地域性と特色ある講座の開催を願いたい。また3図書館間の連絡体制及び日光市との連絡報告を密にし、今後も図書館サービスに努めてほしい。					
前年度総合評価 ※5段階評価		B	総合評価 ※3段階評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上		
	B(良好) = A、C以外		
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		